



さんが

第一二四号

令和七年
西暦二〇二五年
正月

曹洞宗 東運寺

京都市伏見区淀新町六一八一

TEL 〇七五-六三一-二二七二

FAX 六三二-五七二五

E-MAIL sanga@tounji.net

謹賀新年

玉龍山東運寺

住職 柳田彰宣

徒弟 慧亮

侑亮

寺族

マヤ

画 妙子



今年は巳の年。ですが、ほんものの蛇は、苦手な方も多いでしょうか。

蛇をご神体とする神社もあります。神の使いとして信仰されてきた、古い歴史もあるようです。それだけ、私たちには身近でありながら、不思議な生きものと言えるのでしょうか。

また、蛇は脱皮をすることから、巳年は、復活と再生を象徴する年とされるようです。

蛇は強い生きものでもあります。みなさまにとりまして、蛇の強さにあやかった、素晴らしい年となりますようにお祈りしております。

ご本尊さまのもと、東運寺も新しい年をむかえました。檀信徒皆さまのご多幸を、心よりお祈り申し上げます。

大本山總持寺に

お参りしました

昨秋の九月十一日から、十二日の一泊二日で、横浜にある大本山總持寺に、参拝いたしました。

昨年は、曹洞宗の基礎をお作りになった、瑩山（けいざん）禅師の七百回大遠忌の年でありました。その縁で、昨年一年をかけて、全国から参拝の旅行が企画され、大勢の方がお参りなされました。



京都府は、六班に分かれており、東運寺チームはその第六班目に、住職夫婦を含め、十名での参加です。初日に東京観光をし、横浜に宿泊して、總持寺の法要に、参列してまいりました。

写真は總持寺の本堂「大祖堂（だいそどう）」です。千畳敷を誇る、鉄筋では日本有数の、巨大な寺院建築です。

大遠忌にちなみ、曹洞宗の表彰がありました。

そのお一人として、東運寺役員を長くお勤めになつていらっしゃる功績により、総代の岩崎義弘様が、表彰をお受けになりましたことをご報告いたします。あらためて深く感謝し、益々のご活躍をお祈りします。



昨年は元旦から大災害が起つてしまいました。世界では、戦争が続き、悲しい思いをしている人たちが絶えません。

また、いろいろな国で劇的な変化が、訪れようとしているようにも感じます。

このように社会が動くとき、私たちはどうしても、不安になってしまふことが多いものです。自分や、そのまわりにどのような影響が起こるのか、わからないからかも知れません。

しかし、不安なときほど、まわりに目をやっけて頂きたい思います。

不安なときほど、みんなお互いに、大切にし合える世界であつて欲しいですね。



↑ ホームページ



↑ お寺の日常

東運寺ホームページは→

京都 東運寺

検索